

令和4年6月16日
教育長 答弁実録
（教育委員会）

（問）特別支援学校の教育環境の整備について

現在、教室不足の状態にある学校現場において、教育環境の向上のためにどのような対応をしているのか、教育長に伺う。

また、本県でも公立小中高校や特別支援学校の教員不足が課題になっているが、今後見込まれている特別支援学校在籍者数の増加に伴う教員の確保に向けてどのように取り組んでいくのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

特別支援学校の在籍者数の増加に伴い整備する4校の教育環境につきましては、在籍者数の増減の傾向を分析し、整備計画を立てており、普通教室の不足状況を見通して、特別教室の一時的な転用や教室の間仕切りなどで対応が可能な間に整備を進めることとしております。

このため、これらの4校につきましては、狭隘化が解消されるまでの間、応急的対応により確保した普通教室においても幼児児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができるよう、照明設備等の改修や空調機器の整備等、教育環境の向上を図っており、引き続き、在籍者へのきめ細かい対応に努めてまいります。

次に、特別支援学校の教員につきましても、今後の在籍者数の増加に合わせて措置をしていくことが必要であり、その採用を計画的に行っているところでございます。

計画的に教員を確保するために、一人でも多くの方に教員採用試験を受験していただけるよう、県内外の教員志望の大学生を対象とした出前講義や、受験者向けの説明会におきまして、「学びの変革」の具体的な取組や先輩教員からのメッセージ等を紹介して、本県で教員になることの魅力をアピールする取組などを行っており、引き続き、教員の確保に向けてしっかりと取り組んでまいります。